

2020年5月1日

医療従事者の方々へ

社会福祉法人 多摩福祉会

職員一同

感謝と尊敬を含めた応援メッセージ

日々新型コロナウイルス感染症罹患のリスクを負いながらも、命を守るためにご尽力いただき、本当にありがとうございます。皆さんの懸命な努力があるからこそ、今こうして緊迫しながらも何とか生活を送ることができる環境が保たれているのだと感じています。心から感謝しています。

しかしながら、最近では医療従事者の方々のお子さんの預かりが拒否される等の事例があると報道されています。実際、新型コロナウイルスと最前線で戦われている医療従事者の方々の中には、保育園がなかったら働けないという方が沢山いらっしゃると思います。命がけで人命を救っている方々を、私たち保育従事者が命がけで支えています。大袈裟に思われるかもしれませんが、保育従事者でさえそのような思いで働いています。ましてや最前線にいらっしゃる方々の覚悟は計り知れません。そのような方々が差別的な処遇を受けているというのは、ただただ切なくてなりません。

多摩福祉会としましては、医療従事者の方々を含め、この間お子さんをお預けになっている方々皆さんに対して、「お互い社会を支える仕事をする者同士」として敬意を払いながら温かく受け入れ、背中を押すように送り出そう。「お子さんは責任を持ってお預かりしますので、安心してお仕事されてきてください」という気持ちで送り出そう。お預かりしたお子さん達にも、お父さんお母さんの仕事の尊さを伝えていこう。そして私達も、保育従事者として誇りを持って日々を過ごしていこうという思いを職員一同で共有し、この苦境を何とか前向きに乗り越えていこうと意思統一を行っているところです。

子どもは未来の希望です。私達保育従事者は、「現在を支えながら、未来の希望を育てる仕事」です。そして、医療従事者の皆さんは、「現在を守り、未来へ繋がる命を守る仕事」なのだと思います。皆さんがいなければ、これまで繋いできた命のバトン自体が渡せなくなってしまいます。どうか私達保育従事者も共に戦わせてください。皆さんを支えさせてください。そして、子ども達にとって未来を生きる希望が溢れるような生活を取り戻せるように、力を合わせてこの状況を乗り越えましょう。

少しでも皆さんのお力になればと思い、このようなメッセージを贈らせていただきました。皆さんのことを応援している人は世界中に大勢います。どうかこの状況に希望を失わず、共に戦う同士がいることを忘れないでください。いつも応援しています。

医療従事者の方々へ、心からの感謝と尊敬を含めて。